

2018年度地域農林経済学会国際ワークショップIIの開催について

2018年7月16日
地域農林経済学会 国際化担当理事

拝啓 盛暑の候、会員諸兄におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、地域農林経済学会では、学会の国際化の一助とするために、使用言語を英語とし発表および討論の時間を長めにとる研究会を2018年度から開催しております。3月には第1回ワークショップを開催し、多くの方にご参加いただきました。この度、下記の通り第2回ワークショップを開催することとなりました。みなさまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

日時：2018年8月4日（土）13：30～17：40

会場：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス レクチャールーム B
(大阪市北区梅田1丁目1番3号 大阪駅前第3ビル19階 TEL：06-6442-5522)

プログラム：

- 13:30～13:35 開会のあいさつ・趣旨説明
- 13:35～14:20 Minakshi Keeni (Tohoku University)
"Impact of Women Participation in the Dorbar Shnong: Case Study of Meghalaya"
- 14:20～15:05 Miwa Kana (Kushiro Public University of Economics)
"Impact of Maternal Labor Force Participation on Child Malnutrition: An Analysis of DHS Data from Cambodia"
- 15:05～15:20 コーヒーブレイク
- 15:20～16:05 Shree Kumar Maharjan (Hiroshima University)
"Local Adaptation Plans in Changing Political Context in Nepal"
- 16:05～16:50 Kusudo Takeru (Kyushu University)
"Analysis of the Feasibility of Voluntary Provision of Public Goods from the Perspective of Missing Data Problem"
- 16:50～17:35 Takamatsu Shinya (World Bank)
"Facts about Determinants of Nutrition in Lao PDR"
- 17:35～17:40 閉会のあいさつ

*終了後、懇親会の開催も予定しています。

使用言語：英語

参加申し込み：申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

問い合わせ：地域農林経済学会国際化担当理事 矢倉研二郎 (k-yagura@hannan-u.ac.jp)

以上